科目番号	53014	分類	専門科目 臨床看護学領域	履修者	看護科学コース （看護教育・研究者プログラム）	学年
科目名	母性看護学特論Ⅱ （ Advanced Course in Maternal Nursing 2 ）					1 配当ｾﾒｽﾀｰ 後期

担当者	○佐藤　いずみ	区分	選択	単位	2	時間数	30

授業の概要および目標	学位授与の方針との関連	
＜概要＞ 多様化する現代女性の健康問題について考察する。子どもを産み育てる機能を女性の健康問題としてきた従来の考え方では、女性の健康についてとらえきらない問題が起こっている。女性の生物的側面のみでなく心理・社会・文化的側面を重視するウイメンズヘルスの視野から女性の健康をとらえ,特に周産期を含めての課題の分析・その援助方法を考察する。 ＜目標＞ ・周産期の課題の理解を深める。 ・現代女性が抱える健康問題の課題（晩産化、不妊症）の理解を深める。 ・産後の子育て支援がどのような支援システムで実践されているかその現状と課題を明らかにする。 ・文献の抄読により研究の視点とその方法の理解を深める	○	1．看護学の継承・発展を担うための研究能力
	○	2．臨床現場で「つかえる」エビデンスを「つくり」「つたえる」ことができる能力
	○	3．臨床現場との連携を図りながら看護基礎教育を担うことができる能力
		4．実践を行いながら学部学生の臨地実習指導、新人看護師等の現任教育、生涯教育・卒後教育への支援や指導ができる能力

授　業　計　画

回	内　容	担当教員
第1－3回	文献検討を通して生殖性としての女性を理解する（生理学的・構造的特徴を含む）	佐藤
第4－6回	生殖医療についての理解（研究・文献の抄読含む）	
第7－9回	分娩の三要素についての理解（研究・文献）	
第10-15回	少子化、晩産化、不妊症等の課題が注目されている現在、産む性としての女性の身体の加齢による変化(老化)について関係する文献を抄読し、生物学的、心理的、社会的、経済的、文化的側面より考察し、今後の方向性について考察する。	

事前・事後学習	事後学習：各回、関係する参考図書で該当する部分を読んでくる。 事後学習：配布資料を復習する。また、場合によってはレポートを課す。 単位と時間数に応じた学習時間（学生便覧参照）を参考に取り組むこと。
評価の方法	レポート、発表 フィードバックは発表時の総評時など、適宜行う。
参考図書・資料等	・必要時資料配布
備　　考	オフィスアワーについては、学生便覧を参照し、教員と日程調整をする。